

市のかるた振興に関する取組み（平成30年度）

1 きまり字五色二十人一首かるた札の配布

- (1) 目的 児童生徒に学習教材としてだけでなく、休み時間等にもかるたに触れてもらうことにより、競技かるたの普及を図るため。
- (2) 配布先 市内の小学校13校及び中学校7校（松原分校含む）
- (3) 配布数 252セット（各学校の学級数を目安）
- (4) 配布日 平成31年3月11日～15日



有帆小学校児童代表にかるたセットを贈呈（15日）

2 かるた教室「はじめてのかるた体験会」

- (1) 日時 平成31年3月21日（祝）
14時30分から17時15分まで
- (2) 場所 山口県立小野田高等学校武道場
- (3) 参加人数 61名 未就学児 1名
小学生 30名
中学生 16名
高校生 2名
大人 12名

見学者 20数名

- (4) 内容 きまり字五色二十人一首かるたを使用し、山陽小野田かるた協会及び小野田高等学校小倉百人一首かるた部の協力の下に競技かるたの体験会を開催した。



スライドと実演による競技ルールの説明の様子（小野田高校かるた部）



競技体験の様子

3 その他

- (1) 市長による全国大会の応援
- (2) 市広報文化ナビページにかるたのコラム欄を新設
- (3) FMサンサンきららラジオ出演

山陽小野田市では、文化芸術によるまちづくりの柱として、「かるたによるまちづくり」に取り組んでいます。この「かるた」を多くの人に広め、親しみを持ってもらうため、数々の全国大会で活躍する小野田高等学校小倉百人一首かるた部の青池顧問によるかるたのコラムの連載を始めます。

COLUMN

山陽小野田市はなぜ「かるたのまち」

毎年1月上旬に、滋賀県大津市の近江神宮で競技かるたの日本一を競う「名人位・クイーン位決定戦」が開催されます。山陽小野田市からは、かるた女性日本一であるクイーンが2人誕生しています。第16～19期クイーンの今村美智子さん、第21～28期クイーンの久保久美子さんです。久保さんは3人しかいない永世クイーンに初めてなった方です。そういった伝統を受けて、3年前、山口県で初の「小倉百人一首かるた部」が小野田高等学校に創設されました。以来毎年、かるたの甲子園といわれる夏の全国高校かるた選手権大会に出場し、熱戦を繰り広げています。

そんな「かるたのまち山陽小野田」に住むみなさんに、かるたの魅力をお伝えしていけたらと思っています。

小野田高等学校小倉百人一首かるた部顧問 青池 のぞみ

COLUMN

満開の桜によせて

ひさかたの光のどけき春の日に
しづ心なく花の散るらむ 紀友則

〈現代訳〉こんなにも日の光が降り注いでいるのどかな春の日であるのに、どうして落ち着いた心もなく、花は散っていくのだろうか。

うららかな春の日差しを受けながら、風に吹かれて散っていく桜の姿に心動かされる人は多いと思います。約1,100年前の人々も同じ思いでした。散る桜に、世の無常や限りある時間の中に生きる人の命のはかなさと重ね、はなやかさの中に寂しさを感じずにはいられません。平安時代の桜は、現在主流の品種であるソメイヨシノではなく、山桜の一種だといわれています。当時は、「花」といえば「桜」を意味しました。

今年も竜王山の桜が見事に咲き誇りました。1日の大会で約6試合をこなす競技かるたは、知力だけでなく体力も瞬発力も求められます。山陽小野田市出身の2人のかるたクイーンは、毎朝竜王山を走り、厳しい体力トレーニングをしたという逸話があります。みなさんもぜひ、竜王山に足を運んでみてください。

小野田高等学校小倉百人一首かるた部顧問 青池 のぞみ